

基本情報

氏名	松阪 A さま					メモ欄	
年齢	5 歳						
住所	浜松市1-2-3						
電話番号	090-1234-5678(母)						
訪問年月日	令和7年4月9日						
家族	続柄	氏名	年齢	職業・学校	同居・別居	特記事項	
	父	松阪 C	32	会社員	同居	健康。穏やかな性格。	
	母	松阪 B	32	なし	同居	健康。物静か。しっかりきっちりしたい性格。	
	本児	松阪 A	5	児発	同居	2019年9月30日生	
	妹	松阪 D	1	なし	同居	健康。乳幼児健診クリア。1歳10か月。	
家族構成	父;32歳 転勤族 名古屋から転勤してきた 休日は子どもたちを連れだしたり遊んでくれる 土日休みの会社員 自動車関連会社 穏やか ツーリング趣味 今はやれていない いつかは息子と行けたらいいなー 三重県出身 二人兄弟の次男にあたり、兄は36歳。兄夫婦家族は実家家業を継いでいる 祖父 自営業社長 61歳 祖母 61歳 自営業だから、割と自由に動けるので助けるよと言っている。 母;32歳 子育てしたかったのがA君の妊娠を機に辞めた 産休ギリギリまで働いていた 父と同じ会社の事務員だった 会社で父と出会い結婚(会社では同期入社) 趣味は手芸 以前は「ハンドクラフトマルシェ」に出店していたが、出産後出来なくなった 岐阜県出身 二人姉妹の長女で妹は29歳 結婚し実家で夫(29歳)と暮らしている。 妹家族に1歳になる娘がおり、育休明けで復帰するところ。祖父母の支援をもらって復帰する。 祖父62歳 再雇用でフルタイム会社員 祖母59歳 正社員就労中 妹;2023年6月生 1歳10か月 発達は順調 兄であるAに対して対等にケンカする。						
障害者本人の概要	生活歴	年月	事項				
		2023年4月	年少でこども園就園。1クラス30人×3クラスあるマンモス園。年少時はクラス担任2名だった				
		2024年4月	年少の夏休み明けから登園渋りが始まり、保健師に相談して名古屋市みどり療育センター(児発)へ週1並行利用開始				
	病歴	2025年3月	父の転勤に伴って転居。				
			乳幼児健診はオールクリア 就園後、違うクラスの保育士が他児へ叱っている様子に怯え登園を渋る				
		2023年11月	名古屋市みどり療育センター受診 ASD診断受ける K式DQ75 認知適応85言語社会65				
	障害歴						
		2024年2月	愛護手帳3(療育手帳B相当)取得				
	医療機関利用状況[現在の受診状況、受診科目、頻度、主治医、どの疾患での受診]						
	大林子どもクリニック かかりつけ医 予防接種など ZAZA子どものメンタルクリニック ASDのフォロー 名古屋では療育センターで月1回心理、3~4か月ごと児童精神科定期受診していた						
	医療 保険 被保険者(本人・家族)						
	<input type="checkbox"/> 国民健康保険 <input checked="" type="checkbox"/> 健康保険 記号 イ 番号 M33/5/2						
	自立支援医療: <input type="checkbox"/> 更生医療 <input type="checkbox"/> 育成医療 <input type="checkbox"/> 精神通院公費 <input checked="" type="checkbox"/> その他(乳幼児医療費助成)						
	現在使用している福祉用具						
なし							

家族の要望・希望する暮らし

就学に向けて大事な1年になるので、A君に出来る限りのことをしてあげたい。そして、安心して小学校入学を迎えられるようにしたい。引っ越ししてきたばかりで、ママ友もないし、実家も気軽に頼れないので不安。家族4人で楽しく暮らし続けられるようにしたい。

本人の要望・希望する暮らし

大きな声を出す先生は怖くなっちゃう。人が大勢いたり、次に何やるのか分からないのも不安になっちゃう。乗り物が大好きで、車のマークはカッコいいからすごく好き。優しい先生や友だちも好き。好きな先生や友だちと一緒に過ごしたい。

関係職種からの情報

- ☐ 療育手帳判定書
- ☐ 施設入所判定書
- ☐ 社会調査資料
- ☐ 職能判定書
- ☒ 指導・経過記録

名古屋市みどり療育センターから、サービス等
利用計画・個別支援計画書を引き継いでいる

[家屋の見取り図]

テラスハウス型の賃貸住宅。2階に家族の寝室がある様子。
訪問時に通されるダイニングのテーブルには何も物が置かれていないくらいに整理整頓されている。
リビングには子どもたちのおもちゃや絵本などが置いてあるが、どこに何が収納されているか分かりやすくなっている。

対応者所見(注目すべき点、気になる点を含む)

生活支援アセスメント票

情報提供者:

/主たる介護・援助者: 母 B / 父 C

生活支援サービスの聴取項目

I 日常生活に関する領域

項目		実態	援助有無	「要」の場合の特記事項	
起床時間		毎朝(土日でも)7時に母が声かけしている。寝起きは良い。	配慮要望	援助者	
				HPの身体介護	
				助言・指導	
就寝時間	21時ごろ就寝。20時半ごろには、A君の好きな絵本をお布団で読み聞かせている。絵本を3,4冊読んでいる間に寝ている。	配慮要望	援助者		
			HPの身体介護		
			助言・指導		
屋内移動		配慮要望	援助者		
			HPの身体介護		
			助言・指導		
衣服着脱	行為は自立してるが、服のタグを嫌う。	配慮要望	援助者		
			HPの身体介護		
			助言・指導		
整容行為	顔に水がかかるのがすごく嫌う。	配慮要望	援助者		
			HPの身体介護		
			助言・指導		
食事行為(介護者の調理・自炊・外食の有無、または自炊の場合の調理・買い物・後片付けの行為)					
	朝食	おにぎり以外のメニューは食べない、認めない。		援助者	
				HPの身体介護	
				助言・指導	
	昼食	名古屋のこども園時代、給食は一切食べなかった。母がおにぎりを持たせて、それを食べていた。		援助者	
				HPの身体介護	
				助言・指導	
夕食	家庭では、昼食・夕食ともにうどん、フライ、カレー(固形物なし)をローテーションして食している。	配慮要望	援助者		
			HPの身体介護		
			助言・指導		

排泄行為	排尿	自宅では自立している。便器にこだわりがあり、TOTO以外のメーカー便器では排泄しない。		援助者		
				HPの身体介護		
	排便	家庭以外では排便しない。拭き取りの仕上げは親が行っている。便器へのこだわりは排尿と同じ。		助言・指導		
			配慮要望			
入浴準備 入浴行為		顔に水がかかるのが嫌い。		援助者		
				HPの身体介護		
				助言・指導		
			配慮要望	母と一緒に入浴。「赤ちゃん洗い」で対応している。		
洗濯				援助者		
				HPの身体介護		
				助言・指導		
			配慮要望			
掃除				援助者		
				HPの身体介護		
				助言・指導		
			配慮要望			

2 健康に関する領域

項目	実態	援助有無	「要」の場合の特記事項		
病気への留意 体力 服薬管理 食事管理	既往歴なし。ASDで定期受診しているが、服薬はなし。保健師が育児支援で定期的に連絡してくれている。		援助者		
			HPの通院等介助		
			訪問看護の利用援助		
			管理栄養士の定期指導		
			保健師の定期訪問		
			助言・指導		
			大きな声が苦手。皮膚の感覚過敏あり。手が汚れるのを嫌う。服のタグ。		

3 社会生活技能に関する領域

項目	実態	援助有無	「要」の場合の特記事項
屋外活動	手が汚れるのが嫌いで、砂場遊びや泥んこ遊びは拒否。揺れ遊具も嫌い。追いかけて遊びは先生や友だちと一緒に参加できる。		<div>援助者</div> <div>HPの身体介護</div> <div>助言・指導</div>
			嫌いな遊びへの誘いに対してはその場で固まる。友達や支援者からのさらなる強い誘いに対しては泣いて抵抗する。
金銭管理			<div>援助者</div> <div>成年後見制度利用援助</div> <div>権利擁護事業利用援助</div> <div>助言・指導</div>
		配慮要望	
危機管理			<div>援助者</div> <div>助言・指導</div>
		配慮要望	

4 生活基盤に関する領域

項目	実態	援助有無	「要」の場合の特記事項
経済環境	父親が自動車関連会社の正社員で経済的な不安はない。		<div>援助者</div> <div>助言・指導</div>
		配慮要望	
住環境	テラスハウス型の賃貸住宅。		<div>住環境の改善</div> <div>住居転居</div> <div>助言・指導</div>
		配慮要望	

5 家族・近隣支援にかんする領域

項目	実態	援助有無	「要」の場合の特記事項
家族・介護者支援状況とその関係	両親のことは大好き 妹の自己主張が強くなり、自分のものをとられてトラブルになる 妹の出産時に父方実家へ預けられたことから、父方祖母に懐いている		<div>援助者</div> <div>ショートステイ利用</div> <div>レスパイト支援</div> <div>助言・指導</div>
			母は、療育センターへ1年間通う中で「ほめて育てる」ことを十分に理解しているが、最近になって妹とおもちゃの取り扱いなどで手加減なしのケンカが日常的になり、A君に対して叱る対応が増えてきている。叱る対応が増えていることで自責の念が強くなっている。
近隣支援の状況とその関係性	転入後、ママ友なし。		<div>援助者</div> <div>助言・指導</div>
			母；出産前は「ハンドクラフトマルシェ」（手作りのアクセサリーなどの販売会）に出店しており、他の出店者やお客さんとの交流があったが、出産後はそういう活動が出来なくなり、交流もほとんどなくなっている。

利用者の状況

コミュニケーションスキルに関する療育

項目	実態	援助有無	「要」の場合の特記事項
意思伝達手段・意思表示の程度	自分の気持ちをことばで表現するのは難しい。		援助者 HPの身体介護 助言・指導
			好きな先生、友だち（女兒）がいるが、名前と一致しない。着ているものに付いているマークで見分けているところがある。困ったり、不安になると固まる。
言語理解の程度	言語指示の理解はほぼ可能。口調がキツイと不安が強まり、固まってしまう。		援助者 HPの身体介護 助言・指導
			固まると、聞いているようで聞いていない・理解できていない状態になる。日常的なルーティンで、簡単な言語指示は動くことが出来る。
電話・FAX・筆記・パソコン・ワープロの使用			援助者 HPの身体介護 助言・指導
		配慮要望	
対人関係及び問題行動	子どもより大人、男性より女性を好んで自分から一方的に声をかける。特定の好きな先生・友だちへの接近が多い。		援助者 HPの身体介護 助言・指導

7 社会参加に関する領域

項目	実態	援助有無	「要」の場合の特記事項
レクリエーション・趣味旅行等	パズル、絵本が好き。休日に父が連れ出してくれるが、大型遊具などで遊ぶよりは、追いかっこ、ボール蹴りで遊ぶことを好む。		援助者 HPの身体介護 助言・指導
			父の仕事が長期休み（GWや夏休み、年末年始）に父方実家（三重県伊勢市）へ帰ることが楽しみ。父方祖母に良く懐いている。
当事者団体・各種社会的活動の参加とその役割	習い事などなし。		援助者 HPの身体介護 助言・指導
		配慮要望	本当は、運動系が苦手なA君のために、スイミング教室などへ参加させたいと思っていたが、療育センターに通う中で、無理はさせないように、と考えて習い事はさせていない。

8 教育・就労に関する領域

項目	実態	援助有無	「要」の場合の特記事項
学校教育または生涯学習（料理教室等）への要望	就学先は地域の学校を希望。支援級にするか通常級にするか悩んでいる。		援助者 HPの身体介護 助言・指導
			登園渋りを経験したことから、母は無理させないことを優先として、支援級から始めた方が良いと感じている。父は、母の気持ちに寄り添っているが、文字への興味関心の高さから、すでにアルファベットまで獲得しているA君の力を考えると通常級でも良いのでは？という気持ちもなくはない。
就労に関する要望			援助者 障害者雇用センター利用援助 障害者職業センター利用援助 助言・指導
		配慮要望	

9 育児・療育に関する領域

項目	実態	援助有無	「要」の場合の特記事項
生活について	父の育児参加は休日に子どもたちと遊ぶことがメイン。育児家事は、実質、母一人で行っている。父は仕事が多忙ゆえに母の大変さには寄り添っている。		援助者 助言・指導 <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> 入浴 <input type="checkbox"/> 衣類 <input type="checkbox"/> 整容 <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> その他 ()
			母は、偏食や感覚過敏、コミュニケーションの質の違いに違和感を感じてきたが、乳幼児健診で特に指摘はなく、どちらかと言うと一人で遊んでくれていて手のかからない子として育児してきたので、子ども園に入園して初めて困難感を感じ始めた。最近では、A君のこだわりに付き合うことに、母は疲れを感じ始めている。妹の育児を通してA君の育児や育ちの特別さを実感している。
医療に関すること	かかりつけの小児科医は保健師から教えてもらったクリニック。ASDについては、近くの専門医に定期受診している。		援助者 助言・指導
		配慮要望	
保健所・学校などの関係について	転居前は子ども園に就園していた。登園渋りがあった。就学は支援級か通常級か迷っているところ。		援助者 助言・指導
		配慮要望	

※精神障害のある人について追記してください。

A 加療中の医療機関について

- ☐ あり → a) 医療機関名 (主治医)
☒ なし b) 病名・診断名 ()
 c) ご本人は病気・障害のことをどのように理解しておられますか？ ()

B 現状

- 1) 入院中 今回の入院はいつからですか？ 年月 から 年ヶ月
 2) 在宅 最後の退院からどのくらいですか？ 年月 退院

C これまでの加療歴

- 1) 初めて精神科にかかった時期 (歳 年月 初診時の医療機関)
 症状が初めて現れた時 (歳 年月)
 どんな状態でしたか？ ()
 2) これまでの入院歴について (回・通算期間 年ヶ月 入院形態)

D 自立支援医療の利用 ☐ 有 ☒ 無 上限額(円)

E 精神科以外の現在の加療状況

- 1) 診断名 医療機関名 入院 ☐ 有 ☒ 無
 2) 診断名 医療機関名 入院 ☐ 有 ☒ 無
 3) 診断名 医療機関名 入院 ☐ 有 ☒ 無

F 家族歴等 特記すべきこと

()